

兵庫県立美術館開館 10 周年記念事業/第 8 回 K E N - V i 文化セミナー

## フォーラム「あさっての美術館」

～未来のミュージアムを考える～

昨年開館 10 周年を迎えた日本科学未来館、今年開館 10 周年を迎えた兵庫県立美術館が共同して、次の 10 年、さらにはその先にある「未来のミュージアム」を展望し、あるべき姿を探る。

科学館と美術館を「ミュージアム」と総称する。

「ミュージアム」についての意見交換を核としつつ、科学やアートの裾野を広げることが地球規模の課題解決につながりうることや、科学とアートの融合により、新たな分野が生まれ発展しうることなど、より広い観点からも議論を深める。

2012年12月8日(土) 開場 14:00 開演 14:30

兵庫県立美術館 ギャラリー棟 3階 ギャラリー

神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 TEL078(262)0901

スケジュール(予定)

14:30 第一部 「あさっての美術館」 プレゼンテーション

プレゼンテーター 川崎 和男氏 / 石黒 浩氏

第一部では、兵庫県立美術館側のプレゼンテーターとして伝統工芸品からメガネやコンピュータ、ロボット、原子力エネルギー、人工臓器、先端医療、海事戦略、宇宙空間の装置化などまで幅広く、デザイン活動を行う川崎和男氏を 日本科学未来館のプレゼンテーターとして社会で活動できる知的システムを持ったロボットの実現を目指し、自身のコピーロボット、ジェミノイドなどのロボットを開発し、最先端のロボット研究者である石黒浩氏をお迎えし、地球規模の人类的課題に対してミュージアムの役割を問い直し未来への繋がりを探る。

15:30 休憩

15:50 第二部 「あさっての美術館」フォーラム

毛利衛氏×蓑豊氏×川崎和男氏×石黒浩氏

第二部では、グローバルな視野を有し、未来を担う子どもへの関心が高く、さらにミュージアムの果たすべき役割について確固たる信念を有するという共通項のある毛利日本科学未来館長、蓑兵庫県立美術館長の両館長及び両プレゼンテーターとともに、ミュージ

アムの現状とその将来像について意見交換し、これを発信することでミュージアムの意義を世に問う。

17:00 終了

あさっての美術館：2010年2月に湘南国際村で開催された第4回ミュージアムサミットにおいて、大阪大学学長（当時）の鷺田清一氏が唱えた概念で、現在の延長線上である「明日」には入りきらない、日常の中で一線を越える美術館を意味する。

入場料                    ギャラリーのみ有料（2,000円）全席自由・500席

パブリックビューイング（無料）

実施箇所（予定）

兵庫県立美術館（レクチャールーム、ホワイエ）

日本科学未来館（イノベーションホール、エントランスゾーン）

主 催                    兵庫県立美術館、日本科学未来館  
                             兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

#### チケット購入方法

兵庫県立美術館ミュージアムショップ

TEL:078-265-6655

ローソンチケット（Lコード 59755）

TEL:0570-084-005

前売り券のみの販売となります。当日券の販売はございませんのでお早めにお買い求めください。  
未就学児不可。

**お問い合わせ** 兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

電話：078-262-0908

美術館ホームページ：<http://www.artm.pref.hyogo.jp/>



# 未来のミュージアムを考える

今年、開館10周年を迎えた兵庫県立美術館。昨年10周年を迎えた日本科学未来館とともに、これからの10年、さらにその先にある「未来のミュージアム」を展望し、ミュージアムのあるべき姿を探る。

第一部では、兵庫県立美術館側のプレゼンターとして幅広いデザイン活動を行う川崎 和男氏を、日本科学未来館側のプレゼンターとして最先端のロボット研究者である石黒 浩氏をお迎えし、地球規模の人类的課題に対してミュージアムの役割を問い直し未来への繋がりを探る。

第二部では、グローバルな視野を有し、未来を担う子どもへの関心が高く、さらにミュージアムの果たすべき役割について確固たる信念を有するという共通項のある日本科学未来館館長 毛利 衛氏、兵庫県立美術館館長 蓑 豊と両プレゼンターによる、ミュージアムの現状とその将来像について意見交換、これを発信することでミュージアムの意義を世に問う。

## 【あさっての美術館】

2010年2月に湘南国際村で開催された第4回ミュージアムサミットにおいて、大阪大学総長(当時)の藤田清一氏が唱えた概念で、現在の延長線上である「明日」には入りきらない、日常の中で一線を越える美術館を意味する。

# 美術館の未来

蓑 豊



毛利 衛



石黒 浩



川崎 和男



2012年 12月 8日 土

開場 14:00 開演 14:30

兵庫県立美術館

ギャラリー棟 3階 ギャラリー  
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 TEL078(262)0901

● 入場料: 1,500円 ● 全席自由 500席

主催

兵庫県立美術館、日本科学未来館、  
兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

## パブリックビューイング

実施箇所(予定)

兵庫県立美術館(レクチャールーム)  
日本科学未来館(イノベーションホール)

● 会場外でのライブ配信(無料) ●



兵庫県立美術館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART





## 川崎 和男

かわさき かずお

大阪大学大学院工学研究科教授  
デザインディレクター・博士(医学)

1949年福井市生まれ。伝統工芸品からメガネやコンピュータ、ロボット、原子力エネルギー、人工臓器、先端医療、海事戦略、宇宙空間の装置化などまで幅広く、デザイン活動を行う。具体的には、「全置換型人工心臓の開発」・「ロボティクス基礎デザイン工学」・「原子力小型機器開発のデザイン支援」・「医工連携におけるデザインによる実務支援」などをテーマとし、研究開発、手法開発、その教育と実務に携わっている。国内外での受賞歴多数。主要美術館に永久収蔵、永久展示多数。「Newsweek日本版」の「世界が尊敬する日本人100人」に2度選ばれる。現在デザインによる世界平和構築をめざして「Peace-Keeping Design(PKD)」というプロジェクトを提唱。



## 石黒 浩

いしぐろ ひろし

大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻教授  
ATR石黒浩特別研究室室長(ATRフェロー)・工学博士

1963年滋賀県生まれ。社会で活動できる知的システムを持ったロボットの実現を目指し、これまでにヒューマノイドやアンドロイド、自身のコピーロボットであるジェミニノイドなど多数のロボットを開発。2007年英国Synectics社の「世界の生きている天才100人」において26位に選出される。2011年大阪文化賞(大阪府・大阪市)受賞、2012年志田林三郎賞(総務省)受賞。「世界が尊敬する日本人100人」(ニューズウィーク日本版/2009年)に選出など、最先端のロボット研究者として世界的に注目されている。主な著書に「ロボットとは何か」(講談社現代新書)、「どうすれば「人」を創れるか」(新潮社)、「アンドロイドを造る」(オーム社)、共著に「生きるってなんやろか?」(毎日新聞社)など。



## 毛利 衛

もうり まもる

日本科学未来館館長・宇宙飛行士

1948年、北海道余市町生まれ。理学博士。北海道大学助教授を経て、85年に宇宙開発事業団(NASDA、現JAXA)の宇宙飛行士に選抜される。92年と2000年、スペースシャトル・エンデバー号で、宇宙実験や地球陸地立体地図作成データ取得を行った。03年、しんかい6500に搭乗し深海での科学実験を遂行。同年、南極で皆既日食の生中継を行う。07年、南極昭和基地にて開設50周年事業に参加。現在、日本科学未来館館長、東京工業大学大学院連携教授、東京理科大学客員教授、アジア太平洋地域科学館協会会長としても活躍。専門は核融合材料科学、真空表面科学、宇宙実験。著書に「モマの火星探検記」(講談社)「日本人のための科学論」(PHP出版)「宇宙から学ぶ ユニバソロジーのすすめ」(岩波書店)など多数。



## 蓑 豊

みの ゆたか

兵庫県立美術館館長

1941年金沢市生まれ。1977年ハーバード大学文学博士号取得。69年ロイヤルオンタリオ博物館東洋部学芸員(カナダ・トロント市)、76年カナダ・モントリオール美術館東洋部長、77年アメリカ・インディアナポリス美術館東洋部長、88年シカゴ美術館東洋部長などを務める。96年から2007年まで大阪市立美術館館長を務め、この間04年に金沢市に新設された金沢21世紀美術館の初代館長も07年まで兼務し、05年から07年にかけては金沢市助役も兼ねた。07年からは大阪市立美術館名誉館長、金沢21世紀美術館特任館長も務めながら、07年から10年までサザビーズの北米本社副会長、10年4月から兵庫県立美術館館長に就任。

### チケット購入方法

- 兵庫県立美術館ミュージアムショップ

TEL:078-265-6655

- ローソンチケット(Lコード 59755)

TEL:0570-084-005

前売券のみの販売となります。当日券の販売はございません。  
お早めにお買い求めください。未就学児不可。

### お問い合わせ

兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

TEL:078-262-0908

### 美術館ホームページ

<http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

### 交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分  
JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分  
阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分  
神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ  
地下駐車場/乗用車80台収容・有料  
\*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。



神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1  
(HAT神戸内)  
TEL 078-262-0901 (代)  
<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

## Schedule

14:30 第一部

プレゼンテーション

「あさっての美術館」

●プレゼンター

「デザイン表現の場  
としての美術館」

川崎 和男氏

「アンドロイドと未来生活」

石黒 浩氏

15:30 休憩

15:50 第二部

フォーラム

「あさっての美術館」

毛利 衛氏

×

蓑 豊氏

×

川崎 和男氏

×

石黒 浩氏

17:00 終了

